

令和7年度 第1回吉備中央町有機フッ素化合物に関する対策検討委員会 議事概要

日時 2025.7.30（水）18:00～19:30

場所 かもがわ総合福祉センター 集会室

1.委員会の設置要綱説明

委員会の説明を行う。この会の役割は情報の共有と地域声を吸い上げること。

情報提供を行う事等、委員会の趣旨を説明した。

2.本委員会の報道機関への公開・非公開について

- ・自由で率直な意見交換が難しくなるため、報道陣の方には遠慮してほしい。
- ・この会は非公開で。
- ・委員会の議事録は、公開・非公開にするかどうかは、今後この会で議論していく。

3.町有機フッ素化合物に関する対策検討委員会について

（吉備中央町有機フッ素化合物に関する対策検討委員会設置要綱に基づき事務局説明）

- ・有機フッ素化合物に関する対策検討委員会という名称が硬すぎて、住民に沿った柔らかい形に変更してほしい。
- ・自治会長は専門家ではなく全くの素人なので、対策検討のような専門的なことは対応できない。
- ・子供を持つ世代の親が会に参加していないので、PTA から代表者を参加させたい。また、公民館長も地域の話聞くことが多いため、参加してほしい。
- ・地元の事で、報酬を受け取ると責任が伴うため、無報酬で構わない。
- ・メンバーに財産区もとの意見もあるが、財産区に関してはここにいるほとんどの人が関係している。それから、あまり広げ過ぎたら意見は出ない。もうこのぐらいの人数でやるべき。
- ・この委員会の目的は、地域住民への情報提供と、町の対策等に対する住民の意見等を聞くことなので、会の名称や目的、メンバーも含めて再検討を行う。
- ・未来に向けての前向きな話をしたいと考えており、過去の問題よりも、今後どうするかに焦点を当てたい。専門的な知識については行政や専門家に頼るしかないとし、自分のビジネスは、スタッフと多くの生産者と共に行っている。そのことを言わしてもらえればと考えている。
- ・住民説明会で集められた住民の意見に基づいて、今後の方向性を考えるべきだ。この住民の声を反映し、自治会長や関係者の意見を組み込んだ調整を行うことが委員会の役割である。
- ・住民説明会でいろんな直接のやり取りができる場が必要。
- ・大きな事案、多くの方に直接伝えなければならないというような事案があれば、住民説明

会を行いたい。

- ・住民説明会では、PFAS 血中濃度検査の結果に関する情報が難解な専門用語で説明され、住民が理解しにくい。分かりやすいグラフなどを使って、誰にでも理解できる形で情報を提供して欲しい。

4.総務部会、原因究明部会、補償風評対策部会、給水部会、健康相談部会からの進捗報告 (資料等に基づき事務局説明)

- ・総務部会、原因究明部会、補償・風評対策部会、給水部会、健康相談部会から、それぞれ進捗状況等の報告、また、環境省による PFOS 等の濃度低減のための実証実験を、使用済活性炭が置かれていた上田東の円城財産区の土地を利用し、実施されることについての説明。

5.その他

- ・原因企業が活性炭を設置し、源流の水の濃度を下げる対策を取るようお願いしたい。
- ・ダムを管理するのは県、県がもっと本腰を入れて、自分事のように対応してほしいということは伝えている。それが形となってなかなか見えないので、そのことは町から、また、ことあるごとに言いたい。
- ・原因を少しでも軽減するような処置を、県の方はやれよというもの、住民の声として県へ出した方がよいのか。

6.今後の予定

- ・委員会の名称や目的も含めて再検討し、次回の会議はおおよそ1ヶ月後を予定。